

2026年3月期 第3四半期
決算説明資料

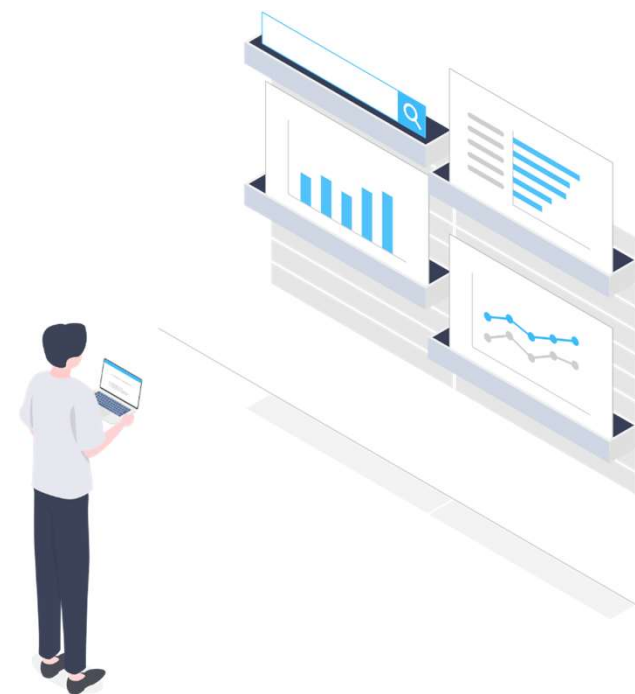
2026年2月12日(木)

東証プライム・名証プレミア
証券コード 6430

FY2026/3
3Q
Results

2026年3月期 第3四半期
実績

01



2026年3月期 第3四半期 実績

連結損益計算書

新紙幣発行による改刷特需の反動で減収減益だがスマート遊技機普及に伴う設備投資需要やグループ会社開発タイトルが業績に寄与し高水準を維持

| (百万円) | 2025/3期 第3四半期 | 2026/3期 第3四半期 | 前年同期比 | 増減率 |
|----------------------|------------------|------------------|--------|--------|
| 売上高 | 48,032 | 45,618 | △2,413 | △5.0% |
| 売上総利益 | 22,302 | 20,653 | △1,649 | △7.4% |
| 販売費及び 一般管理費 | 10,460 | 10,713 | +252 | +2.4% |
| 営業利益 | 11,842 | 9,940 | △1,901 | △16.1% |
| 経常利益 | 11,857 | 10,020 | △1,836 | △15.5% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 8,116 | 6,775 | △1,340 | △16.5% |

※当連結会計期間より、不動産賃貸に係る損益について、営業外損益から売上高及び売上原価に表示方法を変更しております。この変更は遡及適用しております。

2026年3月期 第3四半期 実績

売上高 増減要因

新紙幣発行による改刷対応特需の反動で減収も、スマートパチンコの導入が想定を上回り設備投資需要が増加

情報システム事業

減収

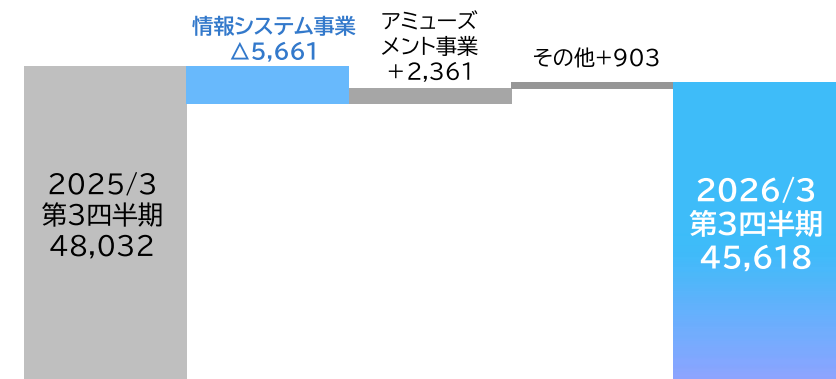
売上高 390億77百万円

前年同期比(円) △56億61百万円

前年同期比(%) △12.7%

※セグメント間取引を含む

単位:百万円



※セグメント間取引を含む

パチンコホール向け製品等

売上高 337億42百万円

前年同期比 △58億86百万円

改刷特需の反動もスマートパチンコ普及に伴いカードユニット「VEGASIA」や新製品となる「BiGMO XCEL」、「TJ-01」および準新製品の「REVOLA II」、「DUALINA」の販売も好調に推移。



サービス

売上高 53億31百万円

前年同期比 +2億21百万円

パチンコホールのDX化に貢献する「MIRAIGATE サービス」が好評、加盟店が順調に増加。



2026年3月期 第3四半期 実績

売上高 増減要因

アミューズメント事業の売上高は前年同期比+84.7%となる+23億61百万円の大幅な増収

アミューズメント事業 **増収**

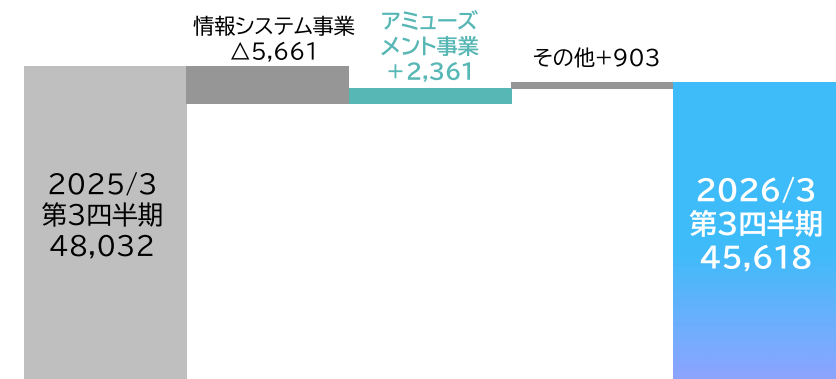
売上高 51億49百万円

前年同期比(円) +23億61百万円

前年同期比(%) +84.7%

※セグメント間取引を含む

単位:百万円



※セグメント間取引を含む

遊技機メーカー向け表示・制御ユニット等

売上高 37億25百万円

前年同期比 +24億96百万円



グループ会社であるDAXEL(株)が開発したスマートパチスロ「ようこそ実力至上主義の教室へ」、元気(株)による自社ゲームタイトル「首都高バトル」の販売が業績に寄与



部品・その他

売上高 13億92百万円

前年同期比 △1億38百万円

2026年3月期 第3四半期 実績

売上高 増減要因

その他事業の売上高は前年同期比+169.4%となる+9億3百万円の増収

その他事業

増収

売上高

14億36百万円

前年同期比(円)

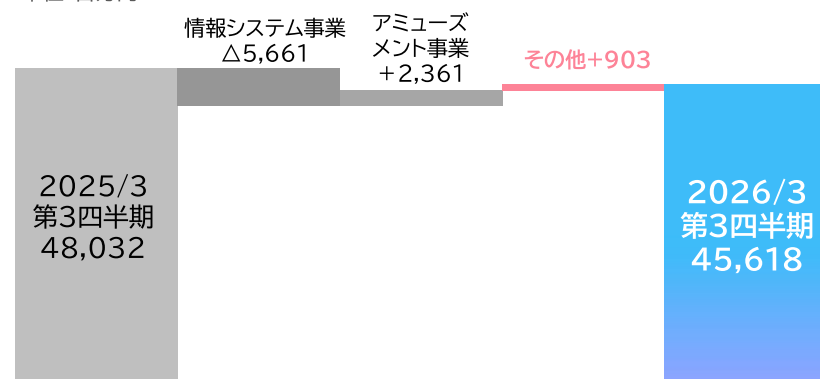
+9億3百万円

前年同期比(%)

+169.4%

※セグメント間取引を含む

単位:百万円



※セグメント間取引を含む



箱根ガラスの森美術館

前中間連結会計期間より、西本産業(株)、(株)LILIUM、(株)ログオンシステム、(株)箱根ガラスの森リゾートを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を追加しております。

※当連結会計期間より、不動産賃貸に係る損益について、営業外損益から売上高及び売上原価に表示方法を変更しております。この変更は遡及適用しております。

2026年3月期 第3四半期 実績

営業利益 増減要因

新紙幣発行に伴う改刷対応特需の反動で減益となるも高水準を維持

※セグメント間取引を含む

情報システム事業

減 益

セグメント利益 106億33百万円

前年同期比(円) △29億18百万円

前年同期比(%) △21.5%

改刷特需の反動はあるものの、スマートパチンコの順調な導入に伴い設備投資需要が高まり高水準を維持

アミューズメント事業

増 益

セグメント利益 11億14百万円

前年同期比(円) +10億79百万円

(前年同期はセグメント利益34百万円)

第1四半期に販売したスマートパチスロ「ようこそ実力至上主義の教室へ」が大きく貢献

その他事業

増 益

セグメント利益 45百万円

前年同期比(円) +1億50百万円

(前年同期はセグメント損失1億5百万円)

単位:百万円

売上総利益
△1,649販売費及び
一般管理費
(費用増加)
△2522025/3期
第3四半期営業利益
11,8422026/3期
第3四半期営業利益
9,940

※全社経費 18億47百万円 前年同期比 +1億99百万円(+12.1%)

※当連結会計期間より、不動産賃貸に係る損益について、営業外損益から売上高及び売上原価に表示方法を変更しております。この変更は遡及適用しております。

2026年3月期 第3四半期 実績

連結貸借対照表

| 単位:百万円 | 2025/3期 | 2026/3期 第3四半期 | 前期比 |
|---------|---------|------------------|--------|
| 流動資産 | 36,122 | 42,193 | +6,070 |
| 固定資産 | 21,143 | 20,584 | △558 |
| 資産合計 | 57,266 | 62,778 | +5,511 |
| 流動負債 | 10,974 | 10,963 | △11 |
| 固定負債 | 1,004 | 1,173 | +169 |
| 負債合計 | 11,978 | 12,136 | +157 |
| 純資産合計 | 45,287 | 50,641 | +5,354 |
| 負債純資産合計 | 57,266 | 62,778 | +5,511 |
| 有利子負債 | 6 | 1 | △5 |
| 自己資本比率 | 79.1% | 80.7% | +1.6 |

資産 増

棚卸資産は減少したが、営業債権の増加により前連結会計年度末比55億11百万円増加

負債 増

情報システム事業の製品仕入高が増加し、営業債務が増加したことにより前連結会計年度末比1億57百万円増加

純資産 増

配当金の支払いがあったが親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末比53億54百万円増加

自己資本比率 増

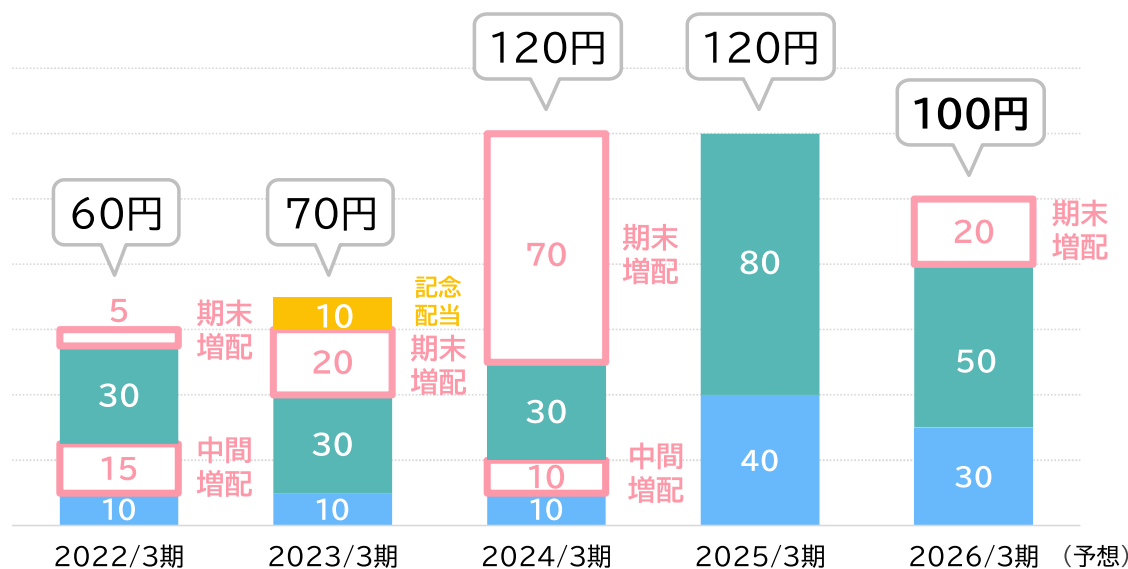
前連結会計年度末比1.6ポイント増加

※当連結会計期間より、不動産賃貸に係る損益について、営業外損益から売上高及び売上原価に表示方法を変更しております。この変更は遡及適用しております。

2026年3月期 配当

- ・ 事業環境や収益の状況、配当性向等を総合的に勘案しつつ、安定配当を行うことを基本方針とし、業績に応じた利益還元を実施
- ・ 2026年3月期は、業績予想の上方修正に伴い中間配当30円、期末配当を20円増配の70円とし、年間100円の配当を予定

| 連結配当性向 | 72.2% | 35.3% | 21.0% | 22.8% | 30.9% |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | |



安定配当が基本方針

■ 中間配当
■ 期末配当 + 業績に応じた配当

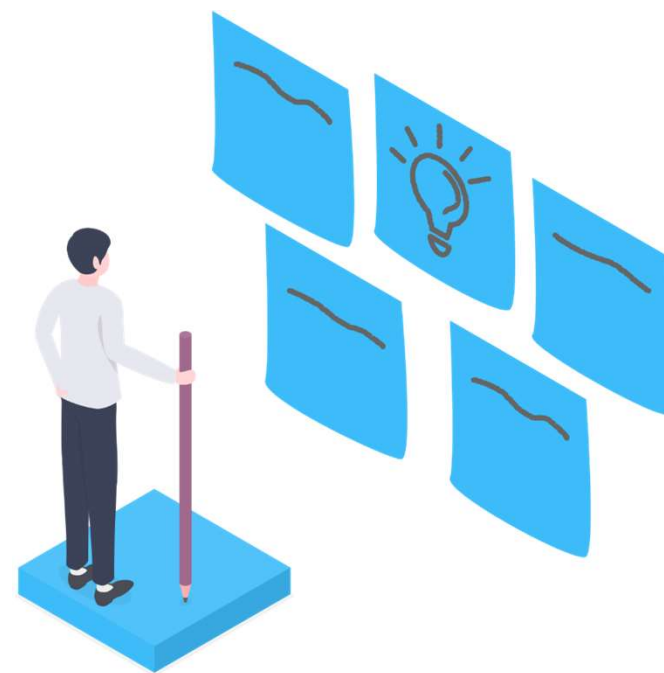
下限配当金を

100円へ引き上げ

2025年5月に策定した中期経営計画において年間80円としていた下限配当金について、今回の増配および今後の収益見通し等を勘案し今後3年間の下限配当金を年間100円へ引き上げ

FY2026/3
3Q
Results

2026年3月期
見通し



02

2026年3月期 連結業績予想

- ・ 前年の改刷特需の反動はあるがスマートパチンコ導入が想定を上回りスマート関連機器の販売が好調、グループ会社開発タイトル販売も業績に寄与

| | 2025/3期 | 2026/3期 | | 前年同期比 | 増減率 |
|-------------------------|---------|---------|--------|--------|--------|
| | 通期 | 上期 | 通期(予想) | | |
| 単位：百万円 | | | | | |
| 売上高 | 57,492 | 30,372 | 51,000 | △6,492 | △11.3% |
| 売上総利益 | 26,723 | 13,861 | 22,700 | △4,023 | △15.1% |
| 販売費及び一般管理費 | 14,480 | 6,875 | 15,200 | +719 | +5.0% |
| 営業利益 | 12,242 | 6,985 | 7,500 | △4,742 | △38.7% |
| 経常利益 | 12,231 | 7,038 | 7,500 | △4,731 | △38.7% |
| 親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益 | 7,727 | 4,736 | 4,700 | △3,027 | △39.2% |
| 研究開発費 | 1,154 | 351 | 1,213 | +58 | +5.1% |
| 減価償却費 | 1,561 | 791 | 1,803 | +241 | +15.5% |
| 設備投資 | 5,876 | 941 | 4,497 | △1,379 | △23.5% |

※設備投資には、有形固定資産の他、無形固定資産への投資を含めて記載しております。

※当連結会計期間より、不動産賃貸に係る損益について、営業外損益から売上高及び売上原価に表示方法を変更しております。この変更は遡及適用しております。

2026年3月期 セグメント別業績予想

- ・ 情報システム事業は、スマートパチンコの導入増加に伴いカードユニットや新製品の販売が好調
- ・ アミューズメント事業は、グループ会社であるDAXEL(株)のスマートパチスロ「ようこそ実力至上主義の教室へ」および元気(株)の自社ゲームタイトル「首都高バトル」の販売が業績に寄与

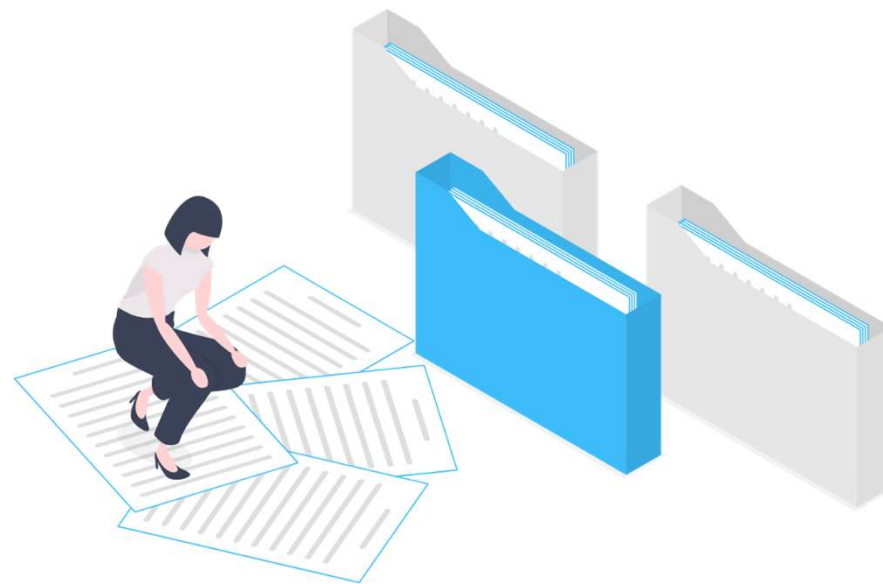
| | 2025/3期 | 2026/3期 | | 前年同期比 | 増減率 |
|------------|---------|---------|--------|--------|---------|
| | 通期 | 上期 | 通期(予想) | | |
| 単位：百万円 | | | | | |
| 情報システム事業 | 52,126 | 25,449 | 43,100 | △9,026 | △17.3% |
| アミューズメント事業 | 4,451 | 4,292 | 6,000 | +1,549 | +34.8% |
| その他 | 889 | 659 | 1,900 | +1,011 | +113.7% |
| セグメント売上高 | 57,468 | 30,401 | 51,000 | △6,468 | △11.3% |
| 情報システム事業 | 14,406 | 7,123 | 9,300 | △5,106 | △35.4% |
| アミューズメント事業 | 356 | 1,063 | 600 | +244 | +68.5% |
| その他 | △178 | △12 | 60 | +238 | - |
| セグメント利益 | 14,583 | 8,174 | 9,960 | △4,623 | △31.7% |
| 全社経費 | △2,376 | △1,187 | △2,460 | △83 | +3.5% |

※セグメント業績の売上高にはセグメント間取引が含まれております。通期予想のセグメント利益はセグメント間取引を考慮しておりません。

※当連結会計期間より、不動産賃貸に係る損益について、営業外損益から売上高及び売上原価に表示方法を変更しております。この変更は遡及適用しております。

FY2026/3
3Q
Results

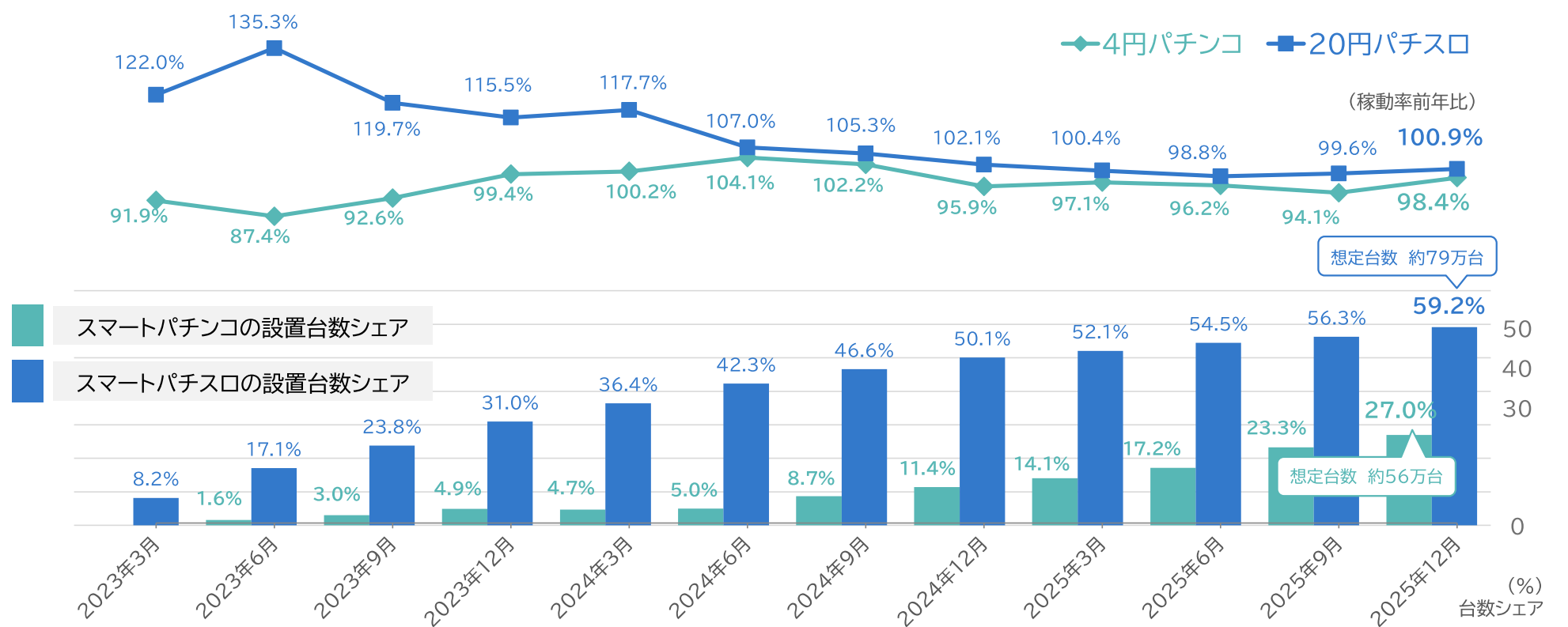
参考資料



03

参考資料 ～稼動（アウト）・前年同月比の推移～

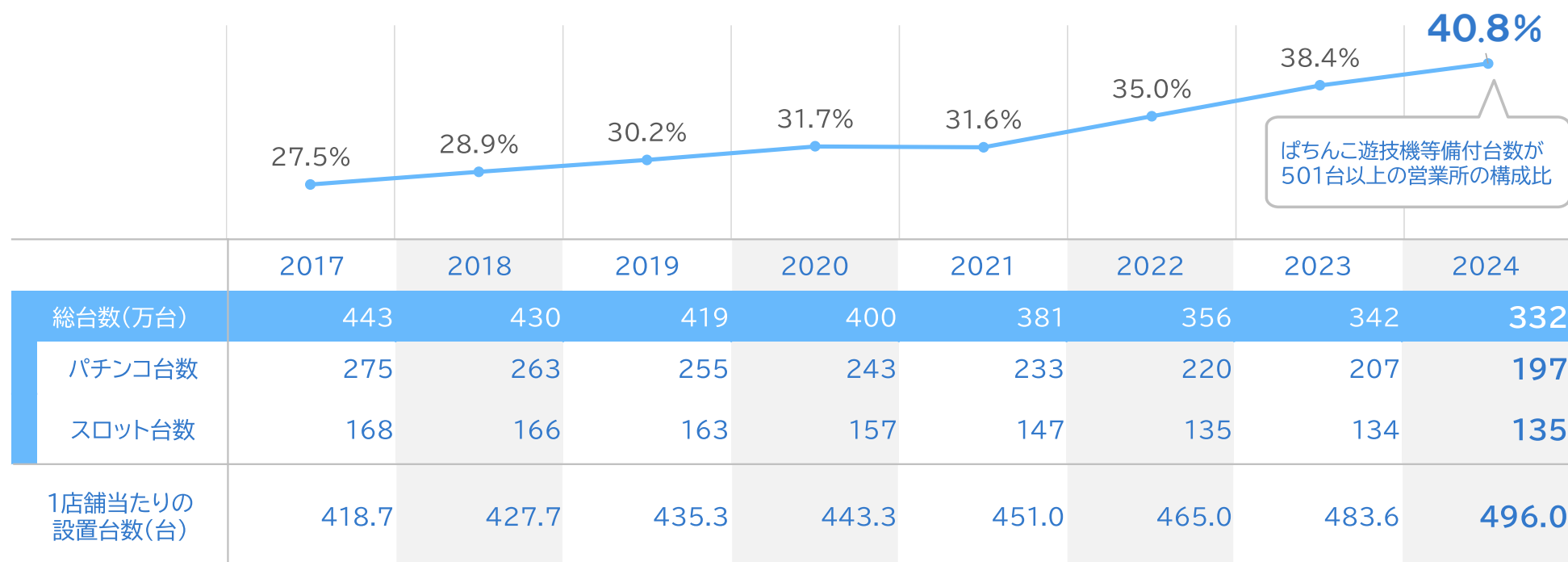
- ・スマートパチンコの設置シェアは前年同月比で2倍以上



※DK-SISデータより 想定台数は市場想定からの予測値

参考資料 ～パチンコ設置台数～

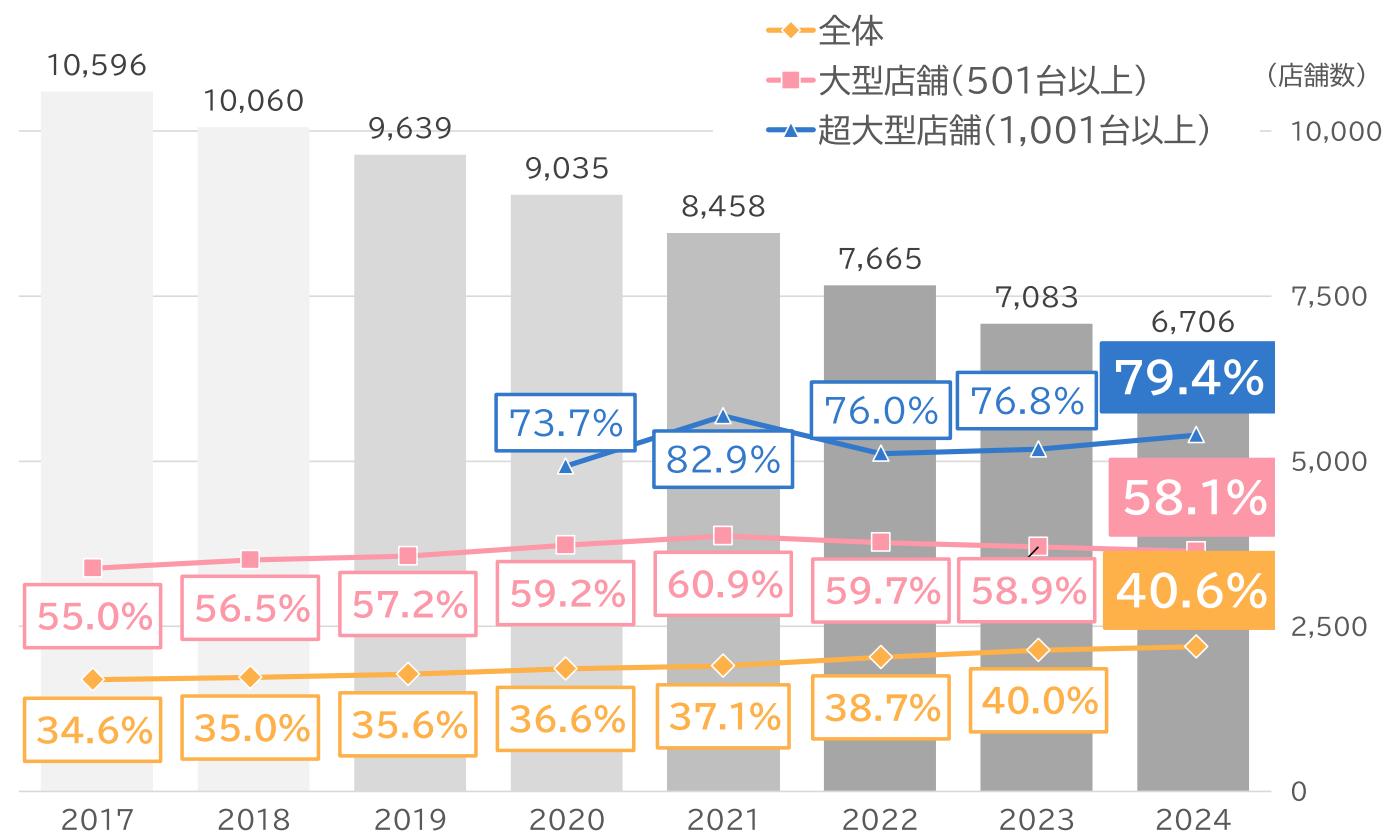
- ・パチンコ店舗数は減少傾向だが大型化が進み、501台以上の店舗割合は拡大
- ・1店舗あたりの平均設置台数は増加しつづけている



※警察庁の「風俗営業等の現状と風俗関係事犯等の取締り状況」より

参考資料 ～パチンコ店舗数と当社ホールコンピュータ店舗シェア～

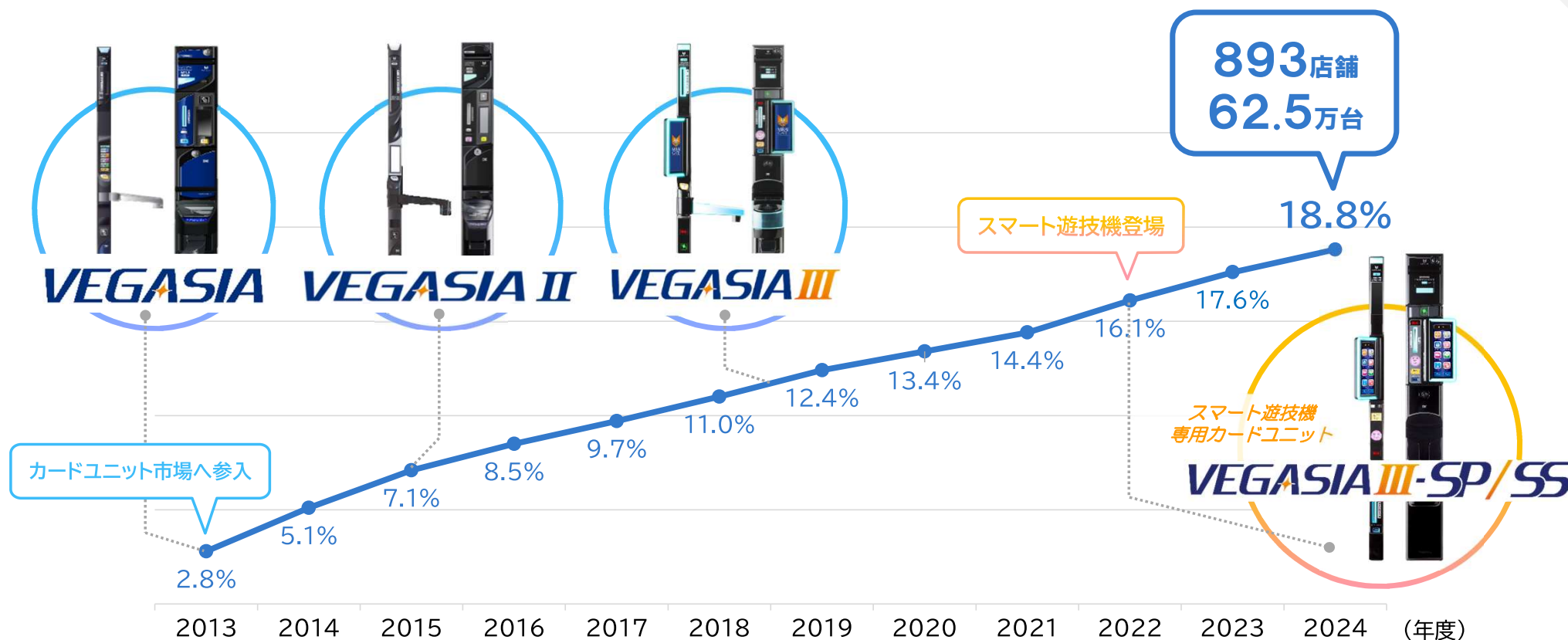
- ・当社は大型店舗のシェアが高く順調に拡大



※店舗数は警察庁の「風俗営業等の現状と風俗関係事犯等の取締り状況」より

参考資料 ～当社カードユニット設置台数シェア～

- ・ 2013年の市場参入以来、当社カードユニット「VEGASIA」(スマート対応を含む)は順調にシェアを拡大



※設置台数は警察庁の「風俗営業等の現状と風俗関係事犯等の取締り状況」より

参考資料 ～スマート遊技機に最適な当社の製品～

- ・ 玉やメダルが無い時代の出玉アピール端末として、呼出しランプ(大型液晶)の需要が増加
- ・ ホールコンピュータ「X(カイ)」と呼出しランプやカードユニットの連動機能も好評

大型液晶端末

BIGMO XCEL

NEW!



業界最大

21.5インチ

ディスプレイがもたらす

圧倒的存在感！

大型液晶端末

REVOLA II

パチンコにニーズが高い

デカセグ+液晶タイプ

のREVOLA II



上部設置端末

DUALINA

台の上部に設置することで
スマート遊技機に最適な

出玉表現をアピール



参考資料 ～当社の事業展開（情報システム事業）～

・パチンコホール・パチンコファン向けに各種製品サービスを開発し提供

ホール コンピュータ

店舗に設置された遊技台のデータを集計し、ホール経営に役立つ高度な分析を提供。台・景品・顧客・情報公開、セキュリティ等、店舗運営に必要なシステムを統合管理。

最新モデル「X(カイ)」では、全国の当社ホールコンピュータから当社MIRAIGATEサーバーに送信されるビッグデータを活用。

AI自動分析(オートコンサル)をはじめ、AI セキュリティ、高精度シミュレーション、禁煙化対応 新型コロナウイルス対応など、時流 に合わせた運用が可能。



ファン向け WEB・アプリ サービス



業界初のホールマーケティングAIエージェント。



サイトセブン(有料サイト)では、パチロボより詳細なデータをファンが閲覧可能。

NEW

景品管理

獲得した出玉を景品交換するシステム。POS「SP-01」では、15.6インチ大型タッチパネル液晶でのキーボードレス運用が可能。「TJ-01」は精算機一体型のセルフPOS。



NEW

大型 液晶端末



NEW

大当たりやスタートなど遊技台のデータ表示、機種に合わせた映像・光・音等による演出、ファンによるスタッフの呼出しなどを行う。

カード ユニット

遊技するための玉やメダルを貸出するために、遊技台毎に設置される端末。

ホールコンピュータ「X」との連動で、ホール内での高度なセキュリティや分析を提供。

直近ではスマート遊技機専用「VEGASIAⅢ-SP/SS」の需要が急増。



参考資料 ～当社の事業展開（情報システム事業）～

- ・ストック型ビジネスとして、パチンコホール向け・パチンコファン向けサービスを展開

パチンコホール向け



NEW!

契約数
ランニング売上



パチンコファン向け



有料会員数



参考資料 ～当社の事業展開（情報システム事業）～

- ・ 利益率の高いストック型ビジネス(サービス売上)が収益を下支え

パチンコホール向け



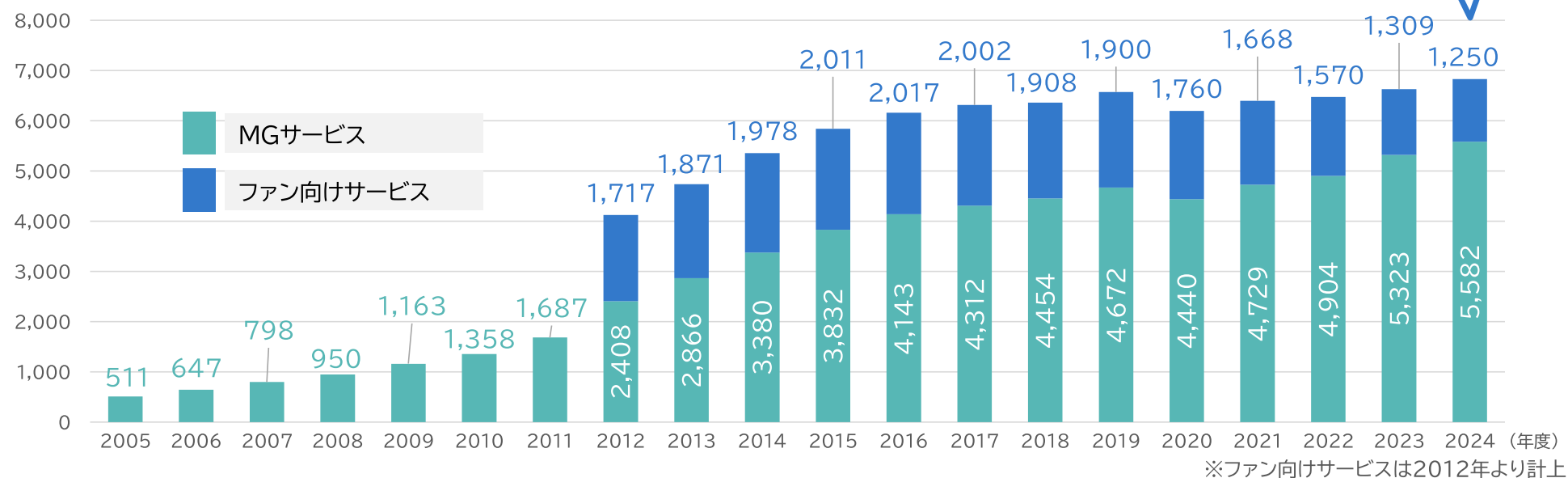
+

パチンコファン向け



サービス売上
合計 **68.6** 億円

(単位:百万円)



参考資料 ～当社の事業展開（情報システム事業）～

MIRAIGATEサービス20種類のうち、

今期は特に **パチンコホールのDX化に貢献する** 3つの経営支援サービスを強化

Market-SIS

商圈分析サービス

- ✓ DK-SISのビッグデータを活用
- ✓ 自店、商圈、全国を一目で把握



データ掲載 **4,629店舗**

ClarisLink

チェーン店管理サービス

- ✓ チェーン店データをクラウド管理
- ✓ いつでもどこでもデバイスフリー



契約件数 **1,255店舗**

らく替オプション

省力化ツール

- ✓ 手間のかかる遊技機の入替設定が、たった1分で完了



変更承認
申請書
システム

契約件数 **758店舗**

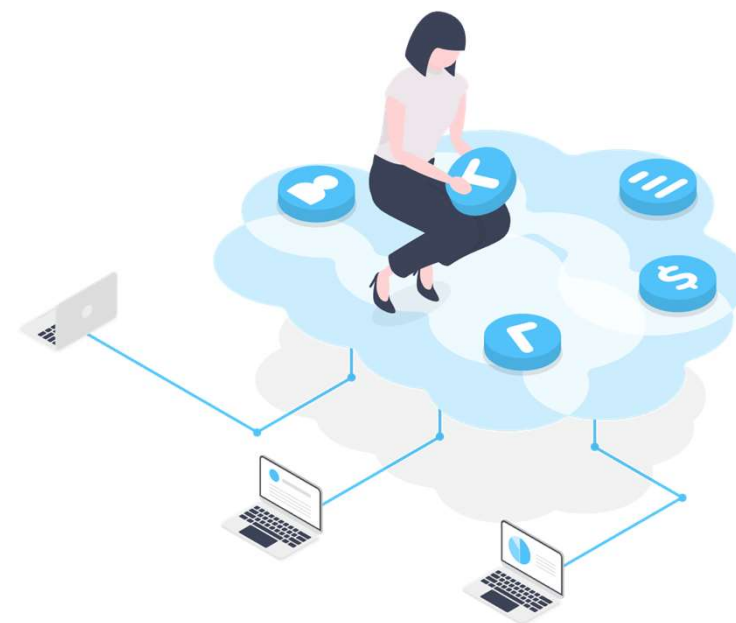
※2025年12月末時点

参考資料 ～当社の事業展開（情報システム事業）～

DK-SISは、全国に設置された遊技台の**42.1%**にあたる**140万台のビッグデータ**を収集・分析し、パチンコホールの経営を支援する**業界No.1の情報提供サービス**(会員数3,227件)



2025
展示会&セミナー



※2025年3月末時点

参考資料 ～サステナビリティ基本方針とマテリアリティ～

- ・ 経営理念をもとにサステナビリティ基本方針を策定
- ・ サステナビリティ基本方針のもと5つのマテリアリティを特定

イノベーションによる新しい価値づくりを通じ、これからも一貫して持続的な成長を果たしてまいります。

経営理念

サステナビリティ
基本方針

ダイコク電機グループは、経営理念に基づく事業活動を通じて社会課題を解決し、ステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な社会の実現とグループの成長を目指します。

| ESG | マテリアリティ | SDGs |
|----------|---|---|
| E | 地球環境への貢献 |       |
| S | 人材活躍の推進 イノベーションによるソリューション提供 依存症への対応 |      |
| G | ガバナンスとコンプライアンスの強化 |    |

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い申し上げます。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

■お問合せ先

ダイコク電機株式会社 総務部 IR推進係

URL <https://www.daikoku.co.jp/contact/>

E-MAIL : xsomu@daikoku.co.jp